



平成30年度 文化コーナー

たくさんのご応募ありがとうございました。

平成30年度文化コーナーにもたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。
今回掲載されている優秀作品に選ばれた方々には、賞品としてカッチーくんグッズを贈呈いたします。

また、病院ホームページや外来ロビー等に全作品を掲示しておりますので、是非ご覧ください。

病院広報員会

平成30年度 優秀作品

俳句

(社)日本伝統俳句協会会員「玉藻」同人

木下みね子・万沙羅 選

立春の 風にこぎ出す 車いす 小田 慶喜さん

秋の夜 吾子に折り鶴 またひとつ 古賀 明美さん

雪だるま 小児病棟 中庭に 砂山 恵子さん

病みてなほ 生きる力の 初日かな 堀見 佐登さん

川柳

佐賀大学医学部附属病院広報委員会 選

病人に やさしき医師も 高齢化 江口 信義さん

受付で 夫婦で探す 診察券 古賀 明美さん

血圧も 妻の機嫌も 日々チェック やんちゃんさん

我信ず 笑いのちから 医者要らず 西分 慶雄さん

俳句

白き類 面影にして 胡蝶蘭	行き会って 息白さ増す 冬の朝	故郷は あの山辺り 鱗雲	薄氷や 免許返納 帰り道	土砂止めの 土囊に確かと 草芽ぐむ	新米や 人の使わぬ 水で炊く	凍てる夜や 病院の灯は いつまでも	いきいきと 生きて傘寿や 青き踏む	しきたりは 心の支へ 豆を撒く	手のひらの けふの錠剤 涅槃西風	梅東風や 方程式の まだ解けず	天空に 歌忘れ来る 落雲雀	父母亡くば 故郷遠し 柚子の風呂	顔の泥 拭く間もなく 蓮根掘る	ピアノより 声の遅れて 卒業歌	歌垣は 校歌の山や 卒業日	北窓も 心の窓も 開けにけり	天山の 見ゆる北窓 開けにけり	韋駄天を 追ひ越してゆく 春疾風	探梅や ここは老人 だけの里	早春の 空に結びし みくじかな	歌垣は 校歌の山や 卒業日	指装具 付けてはずして あんぽ柿	まだ少し 活かせるちから 草を引く	通院日 せきたてるごと 蟬しぐれ	さむい冬 子供は、元氣 かげの子だ	させつがね 雪がふるふる あそびはた	さむい冬 子供は雪が 大好きだ	病室の 窓に頬杖 春隣	冬銀河 眺めまだ来ぬ 朝を待つ	早春の 里に母載る 車いす	立春の 風にこぎ出す 車いす	鶯の こゑ真似口笛 を吹かむ	暖かに 誘はれりハの 一步二歩
	井内 雅仁	★けろね	★ささゆり										江口 信義									江口 八重子			江原 さくら			小田 和子		小田 慶喜			

★は俳号表記

無事終了 後は養生 山笑う	ナースらの 手厚い看護 蓮華草	退院と 告げる主治医や 春の暮	時雨きて 引きたる犬と かばひ合ふ	障り持つ 乙女明るし しぐれ傘	お日様の ブーケつわぶき 野の香り	夕がほと 月ノ相聞 しらむまで	月と母 病床の窓 あみだぶつ	病ひ得て 百歳先輩 敬まへり	ひと日ずつ 延ばし昼寝や 衣替	けふあした 遺言あたらし 秋爽か	ほつほつと 梅ほころびぬ 門松の	届かない 若枝の先の 梅みどり	梅不動 解体工事の 轟きに	ややかるき 遺書のごとくに 賀状かな	髪飾り 揺れて二十歳の 初詣	筆始め 明鏡止水 墨を濃く	面取れば 幼き顔の 寒稽古	ふるさとの 穏やかに見ゆ 初山河	燈明の 灯る神棚 淑氣満つ	寒禽の 飛び行く空に 日矢射して	日溜りに 身動きもせず 冬の蠅	鏗声の 競りに鮪の 掛けらるる	遠富士の 前は小暗し 寒茜	大川の 波は揺籃 浮寝鳥	手打ちする 人の賑ひ 歳の市	孫共に 居間に設ふ 聖樹の灯	外套の ブラック・ジャックの 心地せり	看護師は てきぱき歩く 寒の内	春を待つ 有明海は 豊かなり	やあー面 木枯らし飛ばす まご娘	恩師去り 涙で霞む オリオン座	初春や 孫子が集い ぽかぽかにか	捨てがたし 小面の笑む 古曆	ひと筋の 光をまとふ 畑の蝶	冬耕の 空の深さや 鳶の笛	★圭子	★桃太郎	★安田 蝸牛	湯本 康二	横手 敏夫	渡辺 勇三
---------------	-----------------	-----------------	-------------------	-----------------	-------------------	-----------------	----------------	----------------	-----------------	------------------	------------------	-----------------	---------------	--------------------	----------------	---------------	---------------	------------------	---------------	------------------	-----------------	-----------------	---------------	--------------	----------------	----------------	---------------------	-----------------	----------------	------------------	-----------------	------------------	----------------	----------------	---------------	-----	------	--------	-------	-------	-------

老い二人 泡を飛ばして 主義主張	★ささゆり
天神さん 誰に切符を あげますか	
風が吹き 古家いろんな 音楽で	
チラチラと サスペンス劇 見る金魚	★けるね
会社でも 弱い所に 痛み来る	
起こされて 君住む街を 遠ざける	
デジタルに 押されて馬齢 加速さす	井内 雅仁
熟視線 交わすその先 オフィスラブ	
いつの世も 不老長寿が 合言葉	井深 靖久
流水よ 北方四島 押して来い	
人間の 心の鬼に 豆を撒く	
撒く人の 誰も笑顔よ 福の家	
生命線 長さ比べる 敬老日	
豆撒いて 不老長寿の 福の家	
長年の 労苦の妻へ お年玉	
地獄耳 ひとりに二つ 日向ほこ	江口 信義
まつ先に 身に棲む鬼に 豆を撒く	
章駄天の 心気を学べ 老いてなお	
病人に やさしき医師も 高齢化	
高齢化 大臣さんも 仲間入り	
傘寿越え 父母の介護も ままならぬ	
妻の愚痴 聞き捨てる ゴミ袋	
老人を 助ける医者も 老いてゆく	
ホームドクター 「泣くし泣きんしゃい」 特効薬	
0・1のまま この目薬は 何に利く	小副川ヨシエ
下の世話 男の看護師 膝を寄せ	
節分の 鬼も仲良く 鬼ごっこ	
あかぎれも しもやけも知る 私の手	小田 和子
よく見れば 鶯餅は 目白色	
麦踏の 記憶の残る 足の裏	
山笑う 今日二回目の スクワット	小田 慶喜
鳥帰る 空を見上げて 伸ばす背な	
秘密基地 ありしこの辺 夏の草	
藍ゆかた 瓜実顔は 母ゆずり	
掛けた山 外れ苦戦の 大試験	★ボンタロウ
鍋いっばい カレーを作り 妻旅へ	
女医さんに 診られ思わぬ 不整脈	
定年後 父権失い ゴミ出しに	
財布から はみ出す御足 セールの日	掛園 明江
マイク持つ バスのガイドは 京なまり	
今年こそ 当てるやるんだ 宝クジ	
今年こそ テビューするんだ 家事男子	★勝井マン
健康で 過ごしていきたい この一年	
身体は 良いが髪膚は 親不孝	
ヨチヨチが 老いの手を引き 菓子売場	上尾 政司
いつだって 妻の指図に 「ハイ！そだねー」	
稼がねば 太りさかりの 妻が居る	
イケメンの 医者がいいねと 意見箱	川野 誠
健康に 気遣い医師の 負担減す	
野菜から 食べて薬を シメで飲み	
受付で 夫婦で探す 診察券	
幼な児と 振り向きさまの ハイタツチ	古賀 明美
帰り路 幼な児笑顔 菩薩かな	
子呼びて 手をつなごうと 諭す母	
面会に つなぐ手と手の 母と子と	
医の進歩 消毒液の 匂ひ消ゆ	古賀 義宏
オルゴール 聴きて診察 待つ時間	
診察を 終えて帰る子 ハイタツチ	

退院に 待つ日もどかし カレンダー ミス探せ なぜか私が見つからぬ 頭湯気 医長の訓示 半端ない 医者者の目で 折り紙つくか 刀剣女子 あめんぼう 水面の富士を 動かした どこからも まるい地球儀 憧れる お金より 思い出残し 父が逝く 冬晴れは きようの一面 見たあとに みそラーメン 3分待てど メール無し 黒猫に ぼんやり笑う 君の頬 ナポリタン 白い皿には 男メシ 実績表 責めぬ魂胆 ああ可視化(食しか) 仮装好き 通貨彼女も 妄想とは ワイフより Wi-Fi家に 40前 夕刻や 苺セールの 大盛況 老いらくの 身体で突如 孫育て 焼きいもの 軽トラ郷愁のせ走り 玄關で 夕餉の匂い 「ごはん何？」 疲れても 我が子の寝顔 笑みこぼれ ありがとう 小さな掌 大きな愛 おしゃべりが 減塩食に 味を付け 気は長く 心は丸く 味薄く ウォーキング 伸びてく寿命 縮む腹 薄味にして血圧の 機嫌とる 血圧も 妻の機嫌も 日々チェック 父の夏書 墨の止め跳ね たしかなり 妻のヨガ 死骸のポーズ 増えてきた インフルが マスクを繋ぐ 花粉症 あのケチが 入っていった 献血者 玄關で さわやか挨拶 警備さん 調理師の 献立で読んで 手を合わせ 的確な 行動振りの 看護師(婦?)さん 看護師の 先手先手の 介護待っ 往來する 若き医師等の たくましさ 三時間 薬と菌の 対交戦(化学療法) 初孫に 主の席を 明け渡す おしゃべりで 楽しく予防 認知症 ありがとう いっぱい言って いい人生 薄化粧 して来るデイに 女たち 幼な友 見舞う元気で ほつとする お土産を 内緒で渡す 目の動き 草むらに 川柳ネタが 二つ三つ 論吉さん 年が明けても 旅をする ボチいくぞ たまも後から ついてきた 転勤で 母の味から 妻の味 がん封じ 毎年しても 癪になり 関税が 撤廃されて 泣き笑い 我信ず 笑いのちから 医者要らず 平成の 次こそ来たれ 安穩よ お日様と 抗う野菜 食えと父 皆が観る ドクターヘリの その行方 新聞で 読めるが書けぬ 改竄を 金券は いらぬ現金 ほしい懸賞 鬼嫁も 病んだ夫に 涙する 病して 人の温もり 身にしみる また接待 ガンマ勝負も ほどほどに 健康へ トクホ・サブリの 二刀流 トクホ振りや 健康タイム 維持そだね 鏡餅 平成最後 惜しむヒビ ほろ酔いで 口の戸自動 無礼講	★紫鰻
★とりびあの	★紫鰻
★春	★紫鰻
馬場 三恵子	馬場 三恵子
★フーマー	★紫鰻
西分 慶雄	★紫鰻
中村 宗一	中村 宗一
中島 健夫	中島 健夫
★わこわこ	★紫鰻
匿名希望	匿名希望
武富 義尚	武富 義尚
★アカエタカ	★アカエタカ
★白湯	★白湯
★やんちゃん	★やんちゃん
新見 リサ	新見 リサ
ジョシユクン涼子	ジョシユクン涼子
佐藤 隆男	佐藤 隆男
坂井 傑	坂井 傑
近藤 千草	近藤 千草
小松崎 有美	小松崎 有美
★ひねた猫	★ひねた猫

<p>どっこいしょ 言わねば何も 始まらぬ 九条と 愛国心を 競わせる 同じ日に かくも大勢 入院す 様々な 人間模様 病棟に 病院で ふれる人情 また楽し 入院で 規則正しく なる暮らし 食べて寝て 検査があつて 薬飲む 点滴の 雫数えて 日が過ぎる 身動きの 取れぬ術後の 情けなさ 点滴が とれてようやく 自由の身 消灯を 告げるナースの 目を盗む リハビリの 辛さや鬼の 療法士 退院に 嬉しき寂しき まじり合う 明日からは 娑婆の暮らしが 待っている 無理禁止 両手両足 繋り縛り 目薬と 追いかけてこの 師走かな 八十路初 漢字検定 神頼み 院内の絵画 カラフル 別世界 三人が ニアミスしつつ 年暮るる ストレスを パワー変換 家事擲く 告知より 日々鮮らけし 草花木 天寿てふ 元気教はる Dr(ドクター)に 花まるや 月に一度の 検診日 カプセルを とび出す薬 サポーター 癌連れて 生きなほす日々 こと多し 敬老日 わたしいつまで きゆうりもみ 免疫の 未来洋々 ノーベル賞 愉しみと 瞑想少し 副作用？ もの忘れ 思い出すたび リフレッシュ トリセツを 逆行のまま 祝金婚 夫入院 倦怠期晴れ 通い詰め 夫入院 四人子スクラム 蚊帳の外 二度三度 三途巡りし 夫生還 手術成功 もやもやも湧く 介護など 八十路入り 青息吐息 事故の後 誕生祝 術後の夫に 促され 洗う度 縮むセーター 身に沿ひぬ 八十に なりておニューの プレゼント ゆつくりと 余命尊び 打ち合はむ(卓球) 青春に 挑む孫らの よさこーい! 詫びと寂 大事にしたい 秋津島 日本の 仮名美しき 歌かるた 日本好き テニス大好き なおみちゃん 今日の病氣 治すのはDr 否自分? 病氣に遠近 問うな! 先ず受診 良き患者 質疑応答 ミスは無い 巡り合う 名医との糸 寄しき縁 怒るほど 診察時間 遅くなる すきなこに すきだといえる しあわせを もうこない ケンカしたのに またきてる またあした そうしてあしたも またあした ばいばいと いわないきみに またねかな ごめんねも いわせぬきみに ありがとう 賀状書き 終えて届いた 喪の葉書 編み上げた 手袋悲し 右と右 よいしょつと 言葉の杖で 立ち上がる 残業は タイムカード 押してから 残業代 出れば年収 倍になる 記念日を 訊けば女房 ゴミの日と 記念日に 何も無いのが サブライズ 受けた時 妻の電話は 長くなる 世界より 世帯平和を 望みたい</p>	<p>★紫猫</p>
<p>★桂子</p>	<p>右田 俊郎</p>
<p>★桃太郎</p>	<p>★安田 蝸牛</p>
<p>森田 進</p>	<p>★チエミ</p>

実家との生活リズム 2時間差	★ふでりんどう
さあ立つて 歩けば元氣 湧いてくる	山田 明
落ち込むな 開き直れば 生きられる	山田 明
生きていて 良かった明日は 退院日	
古希を超え 懐かし友の 三河弁	山田 和彦
カラオケで 入れ歯ふがふが 恋の歌	
初デート 車の窓で 斜に構え	
真つ先に ゆとり世代が 席譲る	
どちら様 聞けずに返す 久しぶり	横尾 伸子
忘れない ようにと書いた メモ忘れ	
もてもては 昔三高 今イクメン	横手 敏夫
元目や まごの財布は 太鼓腹	
ママゲーム 赤子ハイハイ 掃除ロボ	
まご台風 土日手痛い 家の中	横手 友江
怖い物 孫は怪談 婆階段	
暇一番 今日もお休み 救急車	横山 闊治郎
アルバムの 方が幸せ 同窓会	
病して 人の痛み よくわかる	
笑顔とは お金のいらぬ 葉だね	力武 美和
退院を 出きるよるこび かみしめて	
うん十年 使った鍋の 語る傷	
消したいな 消したくないな 恋模様	渡辺 純子
ふうふうと 冷ます母さん 見て楽し	
懐かしや 母を手伝う 手内職	
老老に 認認介護 てなことも	渡辺 勇三
天皇の おそばにいつも 美智子さま	